



第55回
栃木県公衆衛生学会抄録集

平成29年9月1日（金）

栃木県総合文化センター

第1会議室、第2会議室、第3会議室、第4会議室

栃木県公衆衛生協会

栃 木 県

趣 旨

快適で良好な環境のもとで、生涯に渡って健やかな生活を送ることは、すべての県民の願いです。

しかし、医学の進歩、公衆衛生及び生活水準の向上にもかかわらず、健康を阻害する課題は依然として多く、適切な解決が必要とされています。

そこで、県内の公衆衛生関係者が一堂に会し、健康及び環境問題に対する認識を更に深め、問題解決への意欲を新たにするとともに、関係者の資質の向上と県民の公衆衛生、環境保全に対する関心を高めるため、公衆衛生大会及び公衆衛生学会を開催します。

また、救急医療及び救急業務に対する県民の正しい理解と認識を深め、かつ、救急医療関係者の意識の高揚を図るため、救急医療週間記念大会をあわせて開催するものです。

第 5 7 回 栃 木 県 公 衆 衛 生 大 会
第 5 5 回 栃 木 県 公 衆 衛 生 学 会
平 成 2 9 年 度 救 急 医 療 週 間 記 念 大 会

プ ロ グ ラ ム

I 公衆衛生大会・公衆衛生学会・救急医療週間記念大会式典

1 開 会 (10:30)

2 式 辞 大会長 栃木県知事 福田富一

3 挨拶 学会長 栃木県公衆衛生協会会長 太田照男
(栃木県医師会会長)

4 表 彰 保健衛生事業功労者 知事表彰
〃 大会長表彰
救急医療功労者 知事表彰
公衆衛生学会発表優秀者 学会長表彰

5 来賓祝辞

6 受賞者代表挨拶

7 記念講演 「糖尿病を知ろう～生活習慣の見直しで合併症予防～」
講師／獨協医科大学病院 内分泌代謝内科 糖尿病療養指導士
吉橋 信行 氏

8 閉 会 (12:15)

II 公衆衛生学会

1 口演発表

(13:30)

① 第1会場 (栃木県総合文化センター 第1会議室)

演題区分 疫学・保健医療情報、ヘルスプロモーション、
生活習慣病・メタボリックシンドローム、高齢者のQOLと介護予防、
保健所・衛生行政・地域保健

座長 中村 好一 (自治医科大学教授)

〃 福田 健 (一般社団法人栃木県医師会副会長)

〃 小橋 元 (獨協医科大学教授)

② 第2会場 (栃木県総合文化センター 第2会議室)

演題区分 保健行動・健康教育、地域社会と健康、感染症、公衆衛生従事者育成、
食品衛生・薬事衛生

座長 小沼 一郎 (一般社団法人栃木県医師会常任理事)

〃 大原 智子 (栃木県県東健康福祉センター所長)

〃 高橋 正典 (栃木県生活衛生課長)

③ 第3会場 (栃木県総合文化センター 第3会議室)

演題区分 親子保健・学校保健、難病・障害の医療と福祉、精神保健福祉、
産業保健

座長 高橋 司 (栃木県安足健康福祉センター所長)

〃 塚田 三夫 (栃木県県西健康福祉センター所長)

〃 増茂 尚志 (栃木県精神保健福祉センター参事兼所長)

④ 第4会場 (栃木県総合文化センター 第4会議室)

演題区分 食品衛生・薬事衛生、環境保健

座長 金澤 秀行 (栃木県薬務課長)

〃 大橋 俊子 (栃木県県南健康福祉センター参事兼所長)

〃 津久井 哲夫 (栃木県環境保全課長)

2 口演終了

(15:30)

演 題 目 次

No.欄に○印が付いているものは誌上発表

第1会場

(疫学・保健医療情報、ヘルスプロモーション、生活習慣病・メタボリックシンドローム、
高齢者のQOLと介護予防、保健所・衛生行政・地域保健)

No. 1 ~ 3 座長 中村 好一 (自治医科大学教授)
No. 4 ~ 7 座長 福田 健 (一般社団法人栃木県医師会副会長)
No. 8 ~ 10 座長 小橋 元 (獨協医科大学教授)

No.	演 題	発表者名	発表者所属	区 分	頁	予定時刻
1	がん登録を用いたがん検診精度管理支援	渡辺 良光	栃木県 健康増進課	疫学・保健医療情報	13	13:35
2	栃木県がん集検協議会精度管理部会における発見がん追跡調査実施報告～第2報～	佐藤 靖子	(公財)栃木県保健衛生事業団	疫学・保健医療情報	16	13:45
3	県内の児童・生徒における、筋・骨格系外傷に関する調査	岡本 博志	(公社)栃木県柔道整復師会	保健所・衛生行政・地域保健	19	13:55
4	栃木県内精神科病院における栄養食事指導実施状況からみえる精神疾患患者の食生活支援の対応	間庭 昭雄	医療法人宇都宮 新直井病院	生活習慣病・メタボリックシンドローム	22	14:05
5	生活習慣が肥満やリスク保有に及ぼす影響	忽那 洋子	(公財)栃木県保健衛生事業団	生活習慣病・メタボリックシンドローム	25	14:15
6	胸部検診におけるアナログとデジタルの比較・検討	堀江 聡	(公財)栃木県保健衛生事業団	生活習慣病・メタボリックシンドローム	28	14:25
7	住民健診における心房細動の出現頻度と発症因子	片桐 春香	(公財)栃木県保健衛生事業団	生活習慣病・メタボリックシンドローム	31	14:35
8	第3次健康しもつけ21プラン策定のための健康と生活習慣に関する健康実態調査	笠野 恵里	下野市 健康増進課	ヘルスプロモーション	34	14:45
9	高齢者の二次介護予防に果たす高齢者自主グループの機能	富山 純子	那須塩原市 健康増進課	高齢者のQOLと介護予防	37	14:55
10	しっかり貯筋運動教室の効果について	野村 歩美	宇都宮市 健康増進課	高齢者のQOLと介護予防	40	15:05
⑪	スギ花粉症有病率とスギ人工林面積の関係性	高石 雅樹	国際医療福祉大学 薬学部	疫学・保健医療情報	43	
⑫	健康づくり講座におけるメタボリックシンドローム解消及び減量に向けたアプローチの検証	小原 淳子	とちぎ健康福祉協会	生活習慣病・メタボリックシンドローム	46	

第2会場

(保健行動・健康教育、地域社会と健康、感染症、公衆衛生従事者育成、食品衛生・薬事衛生)

No. 1 ~ 4 座長 小沼 一郎 (一般社団法人栃木県医師会常任理事)
 No. 5 ~ 7 座長 大原 智子 (栃木県県東健康福祉センター所長)
 No. 8 ~ 10 座長 高橋 正典 (栃木県生活衛生課長)

No.	演 題	発表者名	発表者所属	区 分	頁	予定時刻
1	自主グループ参加につながったCKD予防教室の評価	伊藤 美智子	小山市 健康増進課	保健行動・健康教育	51	13:35
2	地域・職域連携による職場における健康づくり推進のための取組	工藤 めぐみ	宇都宮市 保健福祉総務課	地域社会と健康	54	13:45
3	男性保健師の抱える課題～性差にとらわれない進化した保健師を目指して～	野村 雅志	栃木市 障がい福祉課	公衆衛生従事者育成	57	13:55
4	地域保健福祉職員研修「リスクコミュニケーション研修」の評価報告	田代 典子	栃木県 医療政策課	公衆衛生従事者育成	60	14:05
5	安足健康福祉センターにおけるHIV等性感染症検査についての一考察	斎藤 麻理恵	安足健康福祉センター	感染症	63	14:15
6	県南保健所管内の保育所における感染性胃腸炎集団発生時の保健所介入時期と経過についての考察	金子 亜樹	県南健康福祉センター	感染症	66	14:25
7	県南保健所管内における外国人結核患者の動向について	半澤 美郷	県南健康福祉センター	感染症	69	14:35
8	栃木県内で分離された結核菌の全ゲノム解読を用いた分子疫学的解析	水越 文徳	保健環境センター	感染症	72	14:45
9	栃木県内で検出されたノロウイルスの分子疫学(2009/2010～2016/2017シーズン)	水越 文徳	保健環境センター	感染症	75	14:55
10	食品取扱従事者等を対象とした腸管系病原菌の保菌者検索におけるPCR法についての検討	阿部 由香里	(公財)栃木県保健衛生事業団	食品衛生・薬事衛生	78	15:05
⑪	高齢者の健康管理意識向上に向けた取り組み	福田 有裕美	国際医療福祉大学 塩谷病院	保健行動・健康教育	81	
⑫	結核に対する看護学生の意識調査について	高山 めぐみ	県西健康福祉センター	感染症	84	
⑬	「自治体保健師の標準的なキャリアラダー」の活用についての一考察	今里 澄江	足利市 健康増進課	公衆衛生従事者育成	87	

第3会場

(親子保健・学校保健、難病・障害の医療と福祉、精神保健福祉、産業保健)

No. 1 ~ 3 座長 高橋 司 (栃木県安足健康福祉センター所長)
 No. 4 ~ 6 座長 塚田 三夫 (栃木県県西健康福祉センター所長)
 No. 7 ~ 9 座長 増茂 尚志 (栃木県精神保健福祉センター参事兼所長)

No.	演 題	発表者名	発表者所属	区 分	頁	予定時刻
1	乳児家庭全戸訪問事業(赤ちゃん訪問)を通して見た母の実態 第2報	渡邊 利子	真岡市 健康増進課	親子保健・学校保健	93	13:35
2	養育に支援を要する妊産婦の把握と支援に関する調査について	谷崎 小有里	県北健康福祉センター	親子保健・学校保健	96	13:45
3	法定ストレスチェック1年目の実施状況報告	信夫 芳恵	(公財)栃木県保健衛生事業団	産業保健	99	13:55
4	筋萎縮性側索硬化症患者・家族会の取り組み	植木 麻美	県北健康福祉センター	難病・障害の医療と福祉	102	14:05
5	とちぎ難病相談支援センターにおける「難病ピア・サポート事業」展開への取り組み	平塚 英治	栃木県難病団体連絡協議会	難病・障害の医療と福祉	105	14:15
6	うつ病復職デイクア追跡調査の結果を振り返る	水沼 健太	精神保健福祉センター	精神保健福祉	108	14:25
7	F60.2非社会性人格障害、F07.0器質性人格障害、F10アルコール使用(飲酒)による精神および行動の障害者の一症例	鈴木 三夫	医療法人報徳会 宇都宮病院	精神保健福祉	111	14:35
8	栃木県県南健康福祉センター「精神障害サポート教室」の2年間の取り組みについての考察	湯澤 春香	県南健康福祉センター	精神保健福祉	112	14:45
9	精神科緊急措置通報の若年ケースから推察される今後の精神・母子保健対策について	金田 薫	県西健康福祉センター	精神保健福祉	115	14:55
⑩	栃木市における思春期保健事業の取り組みについて	橋本 麻希子	栃木市 健康増進課	親子保健・学校保健	118	
⑪	被災者、被害者に対する心理的支援について～精神保健福祉センターの役割を考える～	江口 里香	精神保健福祉センター	精神保健福祉	121	
⑫	県東地区の自殺の現状と課題	遠山 明子	県東健康福祉センター	精神保健福祉	124	
⑬	精神障害者地域移行支援を通じた県北地区の相談支援体制づくり	梅山 典子	県北健康福祉センター	精神保健福祉	127	

第4会場 (食品衛生・薬事衛生、環境保健)

No. 1 ~ 3 座長 金澤 秀行 (栃木県薬務課長)
 No. 4 ~ 6 座長 大橋 俊子 (栃木県県南健康福祉センター参事兼所長)
 No. 7 ~ 9 座長 津久井 哲夫 (栃木県環境保全課長)

No.	演 題	発表者名	発表者所属	区 分	頁	予定時刻
1	医薬部外品(生理用品)における品質保証体制	渡辺 勝則	花王株式会社 栃木工場	食品衛生・薬 事衛生	133	13:35
2	医薬品製造工場としての改善活動事例	田中 茂樹	持田製薬工場 株式会社	食品衛生・薬 事衛生	136	13:45
3	畜産物中における有機塩素系農薬の迅速検査 方法の検討	若林 勇輝	保健環境セン ター	食品衛生・薬 事衛生	139	13:55
4	と畜場に搬入された牛の症状性心内膜炎原因 菌について	白井 幸路	県北食肉衛生 検査所	食品衛生・薬 事衛生	142	14:05
5	高齢者施設等の衛生管理について	鈴木 克弥	安足健康福祉 センター	食品衛生・薬 事衛生	145	14:15
6	食品自主検査における弁当・惣菜の衛生状態に ついて	松島 史朗	(公財)栃木県 保健衛生事業 団	食品衛生・薬 事衛生	148	14:25
7	堆肥化施設に係る臭気抑制に関する調査(第1 報)	神野 憲一	保健環境セン ター	環境保健	151	14:35
8	プランクトンから見た湯ノ湖の水質	中島 麻依子	保健環境セン ター	環境保健	154	14:45
9	花火・ヨシ焼きによるPM2.5高濃度化と影響につ いて	飯島 史周	保健環境セン ター	環境保健	157	14:55
⑩	リスクアセスメントによる製造環境のモニタリング ポイントとデータ管理	落合 宏則	中外製薬工業 株式会社 品質 研究部	食品衛生・薬 事衛生	160	

注 意 事 項

1 発表される方へ

- ① 発表の順序及び発表者の変更は、原則として認めません。
- ② 「次演者席」が設けてありますので、あなたの前の発表が始まると同時に「次演者席」に着席して下さい。
- ③ 発表時間は8分以内です。質疑討論時間は2分以内です。
- ④ 時間の経過はベルでお知らせします。
(7分経過：ベル1回。8分経過：ベル2回。10分経過：ベル3回)
- ⑤ やむを得ず追加資料を使う場合には、受付に申し出た上で、各自の責任で配付して下さい。
- ⑥ パソコン等の機器操作は、発表者側で行って下さい。
- ⑦ 掛図・パネルの掲示は係員がお手伝いしますが、管理は発表者側で行って下さい。

2 質疑される方へ

- ① 発表に関する質問、意見を述べる時は、必ず座長に従って下さい。
- ② 質疑討論は一括して行う時もあります。
- ③ 発言する場合は、所属・氏名を述べて下さい。
- ④ 質疑討論時間は、1題につき2分以内です。

3 御参加の皆様へ

- ① 会場内は禁煙となっておりますので、喫煙は所定の場所で行います。
- ② 会場での呼び出しは行いません。
- ③ 座席数に限りがありますので、他の会場への移動を予定しない方は、各機の中央の椅子にお掛け下さい。
- ④ 携帯電話は、電源を切るかマナーモードにする等、音が出ない状態にしておいて下さい。

会場案内図 (概略図)

栃木県総合文化センター 3階

